

平成31年4月15日発行

2019年

4月号

年4回発行(1. 4. 7. 10月号)

No.1081

(学)日本力行会

RIKKO SEKAI No.1081 力行世界 平成31年4月15日発行 (1)

力士世界

R I K K O S E K A I



創立1897年1月1日



目 次

お別れイヤーエンド・パーティー	ちらし寿司とお味噌汁作り	9
..... 2・3	かるた大会とお汁粉	10
りっこう幼稚園だより	おたよりコーナー	11
りっこう学童クラブ	留学生、移住、会館関連記事	11・12
会館生バス旅行	8	

お別れイヤーエンド・パーティー

12月15日（土）、午後1時半～3時まで、イヤーエンド・パーティーを開催しました。

当日は、中国15名、ブラジル6名、アメリカ5名、ドイツ3名、カザフスタン1名、マレーシア1名、フィリピン1名と、日本語ボランティアの先生とお嬢さん、事務所職員6名の総勢40名が参加しました。

はじめに、事務局長からの挨拶、そして、課長よりアナウンスがあり、国別に舞台下に並び、恒例の各國語での乾杯の後、テーブルいっぱいに並べられたお寿司、ピザ、唐揚げ、フライドポテトのオードブルやスナック菓子を、歓談しながら美味しく頂きました。

ゲームの時間になったので、お料理を一か所にまとめたり、テーブルの片付けを、皆さんも協力して貰いました。参加人数より一つ減らした椅子を会場の真ん中に丸く並べ、恒例の椅子取りゲームの準備が出来ました。

ゲームの紹介と説明をアメリカ人で代表者の桜子さんより、英語でして貰い、ゲームをスタートしました。少しづつ減らされる椅子に、勝ち残った会館生達も必死の形相になってきて、最後は、日本語ボランティアの永吉先生のお嬢様と、中国の女性の

馬さんの戦いに、幼稚園研修生の戴本さんが手をつないで応援し、お嬢様の優勝となりました。皆の優しさや思いやりに満ち溢れた椅子取りゲームになりました。

次も、恒例のbingoゲームです。中国の代表者の王さん2名に手伝ってもらい、ゲームを進めて行きました。リーチの人は沢山出てきたものの、中々、bingoの人は出てきませんが、そのうちに一人、二人と出て来て、順番に壇上に並べられたプレゼントを選び、記念撮影、プレゼン

トがなくなった所で、ゲームは終了となりました。

最後は、壇上に勢ぞろいし、記念撮影をし、閉会となりました。後片付けも皆で一緒にし、残った料理は、皆へお土産に渡しました。

今回、ご協力頂きました職員、日本語ボランティアの先生、管理人ご夫妻、そして参加の会館生達に心よりお礼申し上げます。

最後になりましたが、会館生より頂きました感想文をご紹介させて頂きます。



イヤーエンドパーティー

早稲田大学 WANG YUQI (中国・女子)

力行会館に来てからもう四ヶ月、みんながこんなに集まつたのは歓迎会以来だったんじゃないいか。食べ物や飲み物をいっぱい用意しておいて、食べ始まる前に、それぞれの言葉で「乾杯」した！その後、みんなで楽しく、椅子

取りゲームと、bingoゲームをやった。勝った人はプレゼントをもらえるので、みんなが精一杯盛り上がった。ちなみに、私はbingoゲームの司会、つまりみんなの運命を決める大事な役を務めていた。ワクワクした。

今年は初めて家じゃなく、外国で新しい年を迎えたので、少し寂しかった。だけど、みんなが集まつていて、お喋りもして、年をお祝いする賑やかさと暖かさのおかげで、だいぶ良くなつた！「ありがとう」と伝えたいところだった！

帰国まで残りわずかの間で、もっと力行会のみんなさんと仲良くなれるように！今年、新年願いことの一つにした。

お別れイヤーエンド・パーティー スナップ集



りつこう幼稚園だより



もちつき大会

もも組 松尾涼子

新年を迎え、1月11日（金）にもちつき大会を行いました。

『もち』の絵本を読んでイメージをふくらませたり、きねを持つ真似をしてもちつきの練習をしたり、子どもたちがそれぞれに期待感を持ち当日を迎えるました。



当日は気温も高く穏やかな天気に恵まれ、青空の下でもちつきを行うことができました。時間になるとクラスごとに臼を囲んで座り、まずはもち米をせいろで蒸した『ふかし』をもぐもぐ…。「あまい！」「口の中でおもちになった！」と嬉しそうに味わっていました。

最初はお手伝いのお父さん、お母さんにおもちをついて頂きます。「〇〇くんのお父さんだ！」「がんばれ！」と声援を送る子どもたち。いよいよ自分たちがつく番になり、先生に名前を呼ばれると嬉しそうに前に出て友だちと2人組でおも



ちをつきます。周りの友だちから「1、2、3…」のかけ声があり、その声援を受けて力を合わせておもちをつきました。つきあがったおもちが長く伸びるのを見て大歓声！すぐにお手伝いのお母さんが丸めて味付けをして下さり、クラスでつきたてのおもちを頂きました。「おいしい！」「おかわりください！」とどのクラスも子どもたちの満足そうな笑顔でいっぱいでした。

日本の伝統行事を経験し、友だちと力を合わせておもちをつく楽しさ、一緒におもちを味わう嬉しさを感じることができた1日でした。

節分

もも組 佐藤梨奈

2月1日、豆まきを行いました。節分の時期が近づいてくると鬼が来ることを怖がっている子や、「これで鬼をやっつけるんだ」「おうちで大きい豆を新聞で作ってくる」と鬼退治の準備万端な子がいました。

当日はお部屋で、「皆の心の中に悪い鬼いる？」と心に手を当てながら考

え、「おこりんぼう鬼、泣き虫鬼」と言いながら、歳の数だけ豆を食べることで心の中の鬼を退治しました。

それから、全園児で園庭に集まると、皆それぞれ豆をひとつかみ握り、「鬼は外、福は内」のかけ声と共に園庭に豆をまきました。豆を力強く投げ、自作の武器を持って鬼を待つ勢いのあるゆり組、少しどきどきしながら待ち構えているすみれ組、初めてのことでのわからず、表情がこわばっていたもも組。

そしていよいよ鬼が登場すると、全速力で先生にしがみつきに行ったり、「こわいー」と泣きながらも豆を力強く鬼に投げたり、鬼に立ち向かっていく子ども



たち。

鬼が逃げると、ぱんざいをしてお部屋に戻る子どもたちの姿はとてもたくましく感じました。まだどこかに鬼がいるのではないかと不安そうな子も、飾ってある柊といわしを見て「鬼の嫌いな物」とわかると安心してお部屋に戻る姿もありました。

これからも伝統行事を体験し、知る経験や、鬼退治のようなどきどきすることも友だちと励まし合いながら勇気を持って挑戦し、やり遂げた達成感を味わう経験をたくさんし、自信をもって大きくなって欲しいです。

ひな祭り

もも組 金高美沙稀

だんだんと暖かくなり、春の訪れを感じられるようになってきた3月1日(金)にひな祭りのお祝いを行いました。礼拝堂前には7段の雛人形が飾られており、それを見た子どもたちからは「灯をつけましょぼんぱりに~」と“うれしいひな祭り”の歌を口ずさむ姿がみられました。

各クラスでは、雛人形の前まで行き、



卒園式

もも組 鈴木優菜

3月20日ぽかぽかと暖かな陽射しが差し込む中、卒園式が行ないました。来賓の方、保護者の方、すみれ組が入場し、最後はゆりぐみの入場です。緊張し、ちょっと恥ずかしそうな子どもたち。ですが、後ろ姿は堂々とたくましい様子が伺えました。尾山牧師のお祈りでは、「小学校へ行ってもこれからもずっと神さまはみんなのことを見守ってくださる」と言うメッセージ。子どもたちは手を組み「アーメン」とささやきとても温かい雰囲気となりました。みんな大好きな歌、園歌「青い空」を歌い、証書授与が始まります。一人ひとり担任の先生から名前を呼ばれ、「はい！」という返事をして壇上へ上がり園長先生から証書を受け取

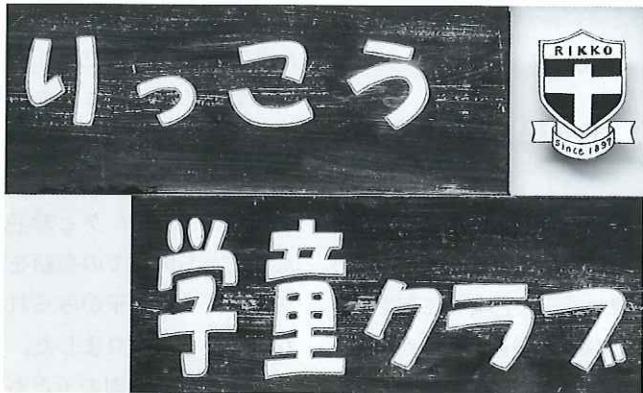
る立派な姿と3年間の大きな成長…。様々な気持ちが重なり心がぎゅっと熱くなる思いでした。すみれ組からゆり組へ歌と言葉のプレゼント。4月からゆり組になるすみれ組は、しっかりと想いを伝え、ゆり組への期待が感じられるひとときとなりました。「さよならぼくたちのようちえん」、「はじめのいっぽ」一人ひとりが思

の子もお祝いする日があり、大きくなれた喜びを共有する姿もみられました。

お弁当のあとにはひなあられを食べました。「甘くておいしいね」「豆まきの時に食べた味にちょっと似てるのがある」「白とピンクと緑色があるね」など友だち同士での会話を楽しみながら食べている様子がみられ、あたたかなひとときとなりました。

りっこう幼稚園の子どもたちみんなで、ひな祭りをお祝いすることができました。これからも子どもたちみんなが、心も体も大きく成長できるよう願っています。





レゴランドの見学会

「ジェットコースターみたーい！！」「空に浮いてる気分！！」とルンルン気分でゆりかもめに乗って、お台場にあるレゴランドに行きました。ゆりかもめは、普段乗っている地下鉄の真っ暗な景色とは違い、外の景色を遠くまで眺めることができます。みんなで先頭車両に乗って運転手になった気分でした。



レゴランドに着いてすぐに子どもたちの身長と同じくらいのレゴの人形がお出迎えしてくれました。「おおきい！！」「いつも遊んでるのは全然違う！！」とワクワクしながら中に入りました。

施設の中は、まるで自分が小さくなって、レゴの世界に入ったかのような空間が広がっていました。レゴで作った東京の街には、東京タワー や東京ドーム、両国国技館など東京を象徴する建物がたくさんあり、「ここ知ってる～」など子どもたちにも



クリスマスパーティー

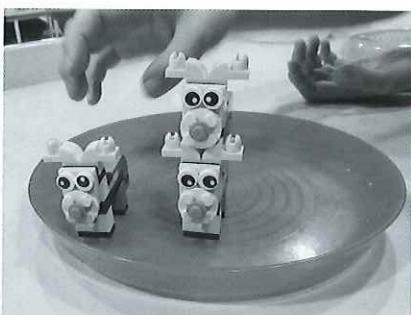
学童クラブに、とても大きなクリスマツリーがやってきて、みんなで飾りつけをしました。クリスマツリーの高さが180cmもあり、上方まで飾りつけをするのが一苦労でした。

12月25日は学童クラブでもクリスマスパーティーをしました。まず、パネルシアターのパネルジャムさんをお呼びして、ブラックライトを使ったクリスマスバージョンを鑑賞しました。幼

分かるような建物がたくさんありました。

子どもたちは、学童で見たこともないようなレゴのパーツを見つけ、色々なものを製作していました。特に、施設の方に教えて頂いたトナカイは、みんなお気に入りで作っていました。

レゴランドは、子ども達の興味が引き立てられるようなものでいっぱい、アスレチックで遊んだり、乗り物に乗ったり、レゴで製作をしたりと楽しい時間を過ごしました。「もう帰るの？」と声が上がるくらい夢中になって遊んでいました。



幼稚園の子どもたちや、近所の学童クラブの子どもたちと一緒にみんなでパネルシアターの世界に入りました。

その後は、bingo大会。1～50までの数字を自分で決めて、オリジナルのbingoカードを作りました。数字が読み上げられる度にドキドキしながら自分の書いた番号があると、嬉しそうに丸をつけていました。ゲームが進んでいくにつれ、「リーチ！」の声が増え

てきました。早くあがつた人からクリスマスプレゼントがもらえるので、みんなの表情が真剣そのものでした。「bingo！」上がった人から、クリスマスツリーの下に並べられたプレゼントを選び、その中の物を楽しみに家に持ち帰りました。



親子ドッジボール大会

今年度最後にして最大のイベント、親子ドッジボール大会を行いました。4月から保護者の方とドッジボールで勝負して勝つ！という目標を掲げて、ほぼ毎日練習を重ねてきました。小学校に入ったばかりの1年生は、ボールを投げることが上手くできない子が多く見られましたが、1年間の成長はものすごく、大人も怖がってしまう程の威力のあるボールが投げられるようになりました。

親子ドッジボール大会では、ドッジボールだけではなく、女の子は一輪車の発表をしたり、学童クラブの子ども達全員で力を合わせて大縄の8の字跳びもしました。

一輪車では、一人で漕ぐことはもちろんのこと、二人で手をつないで漕げるようになったり、「メリーゴーランド」をしたりと、多くの技を習得してきました。

大縄の発表では、「U.S.A」の音楽

に合わせて早いテンポの中、リズムに合わせてダンスもしながら跳んでいきました。

1年間の子どもたちの成長は目覚ましいもので、ドッジボールをはじめ、一輪車も大縄も、子どもたちはこの1年間でかなり多くのことを吸収し、大きくなっていました。その成果を保護者の皆様に見て頂けたことは、子どもたちにとって、強い自信を持てるきっかけになったと思います。



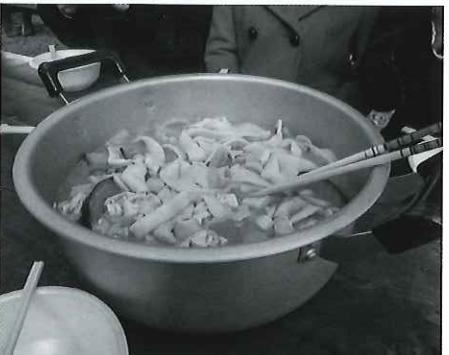
会館生より、頂きました感想文を紹介させて頂きます。

11/25(日) 開催分「会館生バス旅行」 旅行の感想文

今回、山梨県に旅行した。旅行での一番思い出は、皆と一緒に「ほうとう」という山梨県の麺料理を作ることだ。ほうとうを作り、かぼちゃやあぶらあげなど食材を加えて煮込み、非常に美味しかった。昼ご飯を食べた後、河口湖オルゴールの森美術館に行ってオルゴールを作った。富士山の近くにいた

ので、オルゴールに富士山の形を描いた。最後、富士山と河口湖を見たり、写真をとったりして、最高の体験でした。「富士山を見るといいことがある」と言われた。この旅行は本当にいいことばかりがあったのだ！

目白大学 于景(ウケイ)(中国・女子)



ちらし寿司と お味噌汁作り

12月8日（土）に、「ちらし寿司とお味噌汁作り」を開催しました。

当日は、中国5名、マレーシア1名、
ブラジル1名の7名が参加しました。

はじめに、「寿司」について、交流
サロンの空花様に、漢字の書き方など

を含め説明をして頂き、それから、皆
でちらし寿司とお味噌汁を作りました。

炊き立てのご飯に、ちらし寿司のも
とを入れ、しゃもじで混ぜたり、豆腐
や葱を切ったり、お味噌汁の溶き方も

説明しながら一緒に作りました。

出来上がった後は、お寿司にそれぞ
れ好きな具をのせて、お味噌汁と一緒に、
各国の食文化や様々なお話をし、
楽しく食事をしました。

ちらし寿司が少し残ったので、各自、
おにぎりを作り、お土産にしました。
それから、記念撮影をして終了となり
ました。

最後になりましたが、ご協力頂きました
空花様、スタッフの皆様にお礼を
お伝え致しますのと、会館生より頂
きました感想文を紹介させて頂きます。



ちらし寿司作り

寿司が好きだ！握り寿司や巻き寿司、稲荷寿司などはいっぱい食べたが、「ちらし寿司」は聞いたこともなく、ネットで写真を調べると、ケーキのようなものが出てきた。どんな味がするかなと思いながら、今回のイベントに参加した。まずは、出来立てのご飯に、甘い酸っぱいソースを入れて、米をボロボロしないため、切るように混ぜるのはポイントだった。混ぜたご飯に好きな具を乗せて、それで完成。用意していただいたのは海苔や卵以外にも、カニやエビなどのちょっと豪華なものもあった。使った材料は全部スーパーで買えるんだそうで、作るのに、以外に簡単だった。

ちらし寿司を除いて、味噌汁も作った！味噌は火を止めたから入れることと、直接鍋の中に入れるじゃなく、先ずスプーンの中でかき混ぜることを先生たちに教えられた。

みんなで一緒にご飯を作るのは、パーティーのように楽しかった！帰国以後も、自分で美味しい日本料理を作れるように、頑張りたいと思う！

早稲田大学 WANG YUQI (中国・女子)

かるた大会とお汁粉

1月19日（土）に、「かるた大会とお汁粉」を開催しました。

当日は、中国2名、ブラジル2名、マレーシア1名の5名が参加しました。

最初に、交流サロンの空花様より、かるたの歴史と説明をして頂きました。

その後、百人一首の坊主めくりからスタート、姫をめくった時は大興奮し、坊主をめくるたびに皆、落胆する、そ

の様子を見ているだけでも楽しさが伝わって来ました。

次に、いろはかるたをしました。理解力の高い参加者達は、ゲームの遊び方を説明するとすぐに大盛り上がり、絵札を見つめるその姿は、真剣そのもの、勝負を競う様子がひしひしと感じられました。

それから、福笑いをしました。福笑いは、ヒヨットコとオカメの顔のもので、

挑戦者達3名ずつが2回に分かれて挑戦しました。好きな絵を選んで貰い、目、鼻、口、眉毛の位置をよく確認し、それから、目隠しをし、それぞれのパートを置いていきましたが、皆、苦戦しながらも、中々上手で、それぞれの個性の出る作品が出来上がりました。

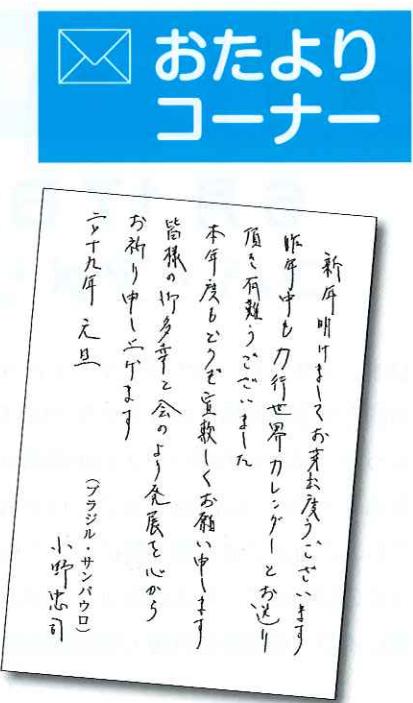
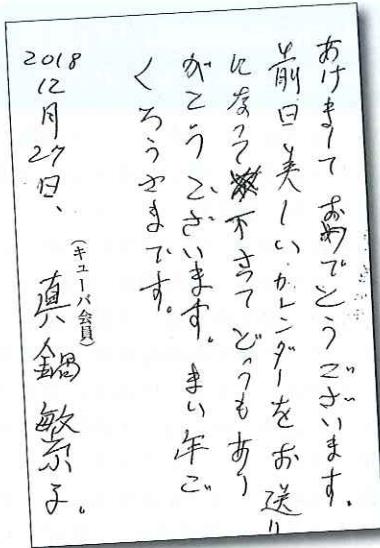
最後に、焼いた切り餅をお汁粉、きな粉、磯部の3種類で試食、お互いの国のお正月の過ごし方などを話したり、和やかに交流する事が出来ました。

ご協力頂きました空花様、スタッフの皆様にお礼をお伝え致しますのと、会館生より頂きました感想文をご紹介させて頂きます。



先日日本のお正月を体験しました。私は小学校2年生まで日本で暮らしていましたが、特に日本らしいお正月を過ごしたことは今までありませんでした。今回は百人一首とカルタと福笑いを教えてもらいました。百人一首のカード自体はブラジルの実家にありますが、遊び方が複雑だという理由で今まで使ったことはありませんでした。しかし、今回は「坊主めくり」という遊び方を教えてもらいました。ルールも割とシンプルで楽しかったです。カルタも福笑いもとても盛り上りました。カルタはルールがわかりやすいのでブラジルで通っていた日本語学校でもやっていましたが、久しくぶりにやめてよかったです。福笑いは初めてで、とても面白かったです。そして、最後はみんなでお餅を食べました。私は日本の食べ物でお餅が一番好きですのですぐ幸せでした。とても楽しい経験でした！

横浜国立大学大学院 清野 ペレイラ さゆり（ブラジル・女子）



もう春が来ました

平成 30 年度りっこう幼稚園ブラジル研修生 藪本タミリ利恵

私はりっこう幼稚園へ去年の2月に
来ました。ブラジルの研修生として、
1年2ヶ月の間お世話になりました。
あつという間の一年でしたが、貴重な
経験をたくさんさせていただきました。

幼稚園に来て何も知らないこの私に、お忙しい中にもかかわらず、先生方からは優しくフォローをしてもらい、そして子供たちからはたくさんの笑顔と元気をもらいました。今ふりかえってみると、私はたった1年の間に、「こんなにたくさんのこと学んだことはないだろう。」と心の中で思っています。りっこう幼稚園では先生方一人ひとりが、園児たち一人ひとりのことを熱心に思い、向き合い、理解して

います。そんな先生方を見ていて私は、「この幼稚園の子供たちは幸せだな。」と思うことが何度もありました。

私は研修を始めてから、年少から年長まですべての学年に入り、たくさんの子ども達とかかわることができました。研修中では、お祈りの大切さや子ども達との対応の仕方、園児たちの生活習慣の重要さ、または子供たちと遊んでいて、折り紙、編み物、けん玉やコマなど、楽しみながらもたくさんのこと学ぶことができました。りっこう幼稚園では様々なイベントが行われます。納涼会、運動会、音楽会やクリスマス会など、先生方が綿密に計画を立てて実行しています。どれも心を揺ら

さぶるイベントばかりです。私はたくさんの方の初めてを子供たちと経験することができ、とても心の温かくなる思い出をこの幼稚園からもらうことができました。

私はここへ研修生として来る前からもブラジルのバイリンガル幼稚園で働いていたので、子供は元々好きでしたが、この1年数ヶ月の研修を受けてから一層好きになりました。子ども達の成長を見ることはここまで感動的なものなのだと再び思いました。

そして最後に、このような立派な幼稚園での研修の機会をくださった力行会には感謝の気持ちしかありません。帰国後も、こうやって子供たちと対応できる職業を見つけ、この研修で学んだ礼儀や知識を共用したいと思います。そして、この幼稚園で作ったたくさん思い出を大切にして、これからも頑張っていきたいと思います。

**ブラジル
政 府**

日本人観光客もっと来て!

6月17日からビザ免除 コパ・アメリカ日本戦初日

日本、アメリカ、カナダ、オーストラリアからブラジルへの観光・短期商用等を目的とする訪問者に対するビザ（90日間）が、6月17日から免除されることになった。訪米中のボウソナロ大統領は18日に大統領令に署名した。今回対象となる4カ国については、すでにリオ五輪期間限定でビザ免除した経緯がある。ただし、これまで双務主義に則って査証免除を行っており、片務的にビザを免除するのは初めて。不法滞在リスクが少なく、消費活動が活発な4カ国の旅行客誘致により、伯政府は外国人観光客数増加に繋げたい考えだ。

（ニッケイ新聞 2019年3月20日より抜粋）

「非常に嬉しいニュース。片務的ではあるが、ブラジル側からのこの表明は一步前進だ」——ブラジル日本商工会議所の平田藤義事務局長はこう喜びを語った。

外務省HPによれば、日本に対してビザ免除措置国は68の国と地域。うち中南米地域では12カ国がビザ不要。一方、伯国に対しては153カ国と地域が不要で、EU諸国やブラジル周辺7カ国、韓国等も査証免除となっていた。

これに対して、平田事務局長は「日本移民が百十周年を迎える長い歴史ある友好国同士が、なぜ他国の後塵を拝さねばならないか。『合点がいかない』と声を大にして呼びかけてきた」と話す。

「大局的な両国の関係向上のためには、経済交流の前に、何より重要なのが人と人との交流だ」と説き、ワーキング・ホリデー制度の必要性にも言及。「ブラジル側から突破口が開かれたが、まだ道半ば。東京五輪に向けて、双務的な査証免除に発展して欲しい」と期待を寄せた。

伯観光省のHPに拠れば、日本からの訪問客は年間約8万人。半数は短期商用で、29%が観光目的という。観光

客の訪問目的地のうち70.5%がイグアスの滝、38.65%がリオ、30%がサンパウロだった。

クイックリー・トラベル社の文岡マミ副社長は「旅行会社にとって、観光客誘致に繋がる措置は有り難い。五輪以降、旅行客は減少傾向。治安面を懸念し、日本人観光客も鈍っているのが現状」と話す。昨年、観光、短期商用等を目的としたビザ向けに電子ビザが導入されていた。「1万円程度要していた手数料が、15ドルになったので家族単位なら旅行がお得になると期待したが、余り増えなかった」という。

今回のビザ免除措置について「ペルーのリマを経由し、直行便でイグアスの滝を巡る南米ツアーアゲンシーが人気。ペルーに加えブラジルもビザ不要となるのでメリットが生まれるので」と話し、「他のラ米諸国の駐在員も観光しやすくなる」と期待を語った。

なお、ビザ免除が開始される当日は、奇しくも南米サッカー連盟主催の「コパ・アメリカ」の日本代表チームの初戦が予定されており、もしも決勝リーグ進出を果たせば、観光客増に追い風がふきそうだ。

日本力行会機関紙「力行世界」定期購読会員ご加入のお願い

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当会はお陰様で創立122年を迎えました。「日本民族の靈肉救済」を旗印に、苦学生及び渡米希望者に支援や便宜を与え、さらに青年の移住斡旋や現地教育にも傾注し、北米、中南米、東南アジア、旧満州へ約3万人の移住者を送り出し今日に至っております。

創立80周年には、記念事業として創立理念をさらに発展させ、“世界と日本の架け橋となる人材育成”“海外同胞との連携強化”などの実現を目標に、留学生宿舎・「国際交流会館」を新設し、各国からの留学生を迎える、日常生活を通して日本文化を習得しながら修学や研究に励めるような環境つくりと支援活動を続けて参りました。

ご賢察の通り、この約40年間に円価格の激変などの日本経済及び世界的位置づけの変容により来日に感謝すべき時代を迎えた今、留学生の来日数や留学目的も変わり、公益の法人といたしまして資力不足ながらも、関係先との諸問題の解決や支援活動の強化や充実にも拘らず、在日留学生の生活環境はまだまだ十分と申し上げる状況ではございません。

つきましては、より積極的な国際交流の継続をご理解頂き、当会活動理解の為、『日本力行会機関紙「力行世界」定期購読会員』のご加入を頂きたくお願い申し上げます。また、ご友人や国際交流にご関心を抱かれている方々への紹介も合わせてお願いいたします。

末筆になりましたが各位の益々のご健勝と弥栄を祈念いたしております。

敬具

平成31年4月15日発行
年4回発行(1・4・7・10月)

発行

(学)日本力行会

〒176-0004

東京都練馬区小竹町2-43-12

電話 03-3972-1151(代)

FAX. 03-3972-1264

E-MAIL: rikkokai@rikkokai.or.jp

ホームページ

<http://www.rikkokai.or.jp>